

遺愛中学3年生が小学生の 外国語活動のお手伝いをしました。

遺愛中学校としては初めての試みで、6月30日の午後に中学3年生が函館市内の千代ヶ岱小学校へ出かけて行って、5・6年生対象の外国語活動のお手伝いをしてきました。ピーター先生の授業で選抜された4人の生徒が、英会話のスキットや英語ゲームでアシスタントとして活躍してきました。

まず5時間目が6年生の教室でした。34人もの児童がいて、教室が狭く感じられましたが、ピーター先生の指導の下、挨拶の練習と「色」について勉強しました。最後は紙でできた人形に、英語で様々な「色」の服から選んでコーディネートしました。児童は楽しく勉強していたようですが、遺愛生は初めての経験で、やや緊張気味でした。

6時間目は5年生の教室でした。17人のクラスで、とても元気がありました。挨拶の練習の後、「数」について勉強しました。最後はパートナーが袋に入れた鉛筆や消しゴム、定規などがいくつ入っているか、「数」をあてるというゲームをしました。pen と pencil の区別が袋の外から手で識別をするのは難しく、全部正解した人いませんでしたが、楽しく取り組んでいました。遺愛生は2回目なのでずいぶんリラックスして、児童の中に入り込み、いろいろアドバイスをおくっていました。遺愛生にとっても良い勉強になったようです。

2015年6月30日

